

沼津土木事務所都市計画課鉄道高架班だより

沼津発⇒未来へ



Facebookページも
「沼津発⇒未来へ」



平成29年2月27日 第23号
発行：静岡県沼津土木事務所



今月の1枚

”冠雪の
富士山”

井田煌めきの丘
からのぞむ冠雪
の富士山です！

沼津の新しいまちづくりが始まっています。「沼津発⇒未来へ」は県と沼津市が共同で進めている鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や最新の情報等についてお知らせする広報紙です。

■ 市長が鉄道高架事業推進の意向を表明しました

2月17日に、沼津市の大沼市長は、市議会2月定例会において、「鉄道高架事業を中心とする沼津駅周辺総合整備事業について、**「世界一元気な沼津」の実現に向けて極めて有効な事業**であるとの認識に至った」と述べ、事業推進の意向を表明しました。

市長はこれまで、事業に関してニュートラルな立場を示していましたが、「今後は責任を持って事業に関する情報を広く公開していくことで市民の理解を得ていきたい」、「**県と連携しながら、市民の理解を得つつ推進**していく」と述べ、事業を推進する方針を明らかにしました。

■ 「沼津駅の高架化を実現する市民の会」が市長に要望書を提出しました

2月16日に、「沼津駅の高架化を実現する市民の会」のみなさんが、大沼市長に鉄道高架事業の推進に関する要望を行いました。

市長は「**大事なことは、みんなで沼津を元気にする決意**だと思うので、ご協力をお願いしたい」と応え、事業推進の姿勢を示しました。



要望書提出の様子

■ 知事が来年度の環境基礎調査実施を表明しました

2月20日に、川勝知事が、県議会2月定例会において、「沼津駅周辺総合整備事業は、県東部地域の拠点である沼津にふさわしいまちづくりを推進する上で、極めて重要な取組」と述べた上で、「**貨物駅の移転先となる新貨物ターミナル周辺の生活環境への影響を最小化するため、現在、環境基礎調査を進めており、来年度も引き続き、影響予測と対策案の検討を行った上で、地元の皆様にも事業への理解を求めていく**」と表明しました。

■ 現在、新貨物ターミナル整備予定地周辺で環境基礎調査を実施しています

●今年度の調査内容

冬季と春季における気象や大気質の現地測定を実施しています。

1 現地測定

- (1) 項目 気象(風向、風速、気温、湿度)
大気質(窒素酸化物、浮遊粒子状物質等)
- (2) 地点 新貨物ターミナル整備予定地周辺の3カ所
- (3) 期間(連続7日間)
冬季(H29.1.22~1.28)、春季(H29.3.1~3.7)



現地測定の状況



測定装置

●来年度の予定

気象や大気、騒音、振動などの影響予測を行い、必要な対策案を検討していきます。

1 現地測定

夏季と秋季における気象や大気質の現地測定に加え、騒音と振動等の現地測定を実施します。

2 影響予測

新貨物ターミナルの整備により影響が懸念される環境要素(騒音、振動、大気質など)の予測を行います。

3 対策案の検討

影響予測に基づき、必要な対策案を検討します。対策案の検討は、原地区のまちづくりを踏まえながら、地域の皆さんと一緒に進めていきます。

【裏面もご覧ください！】

■ 沼津市からのお知らせ

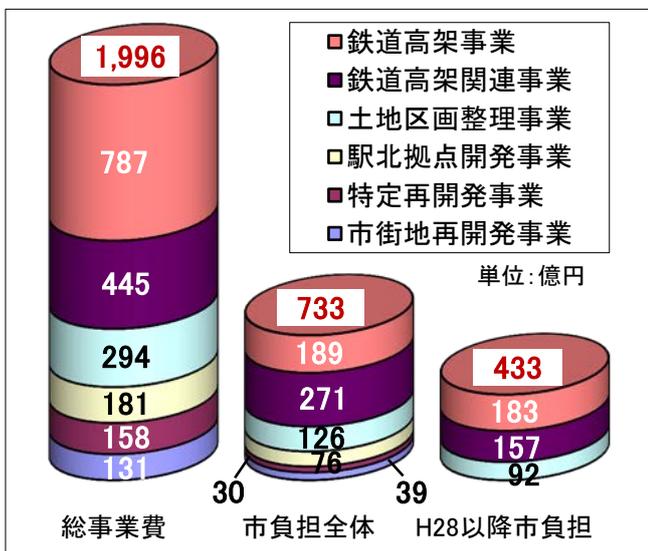
● 沼津駅周辺総合整備事業の全体事業費について

市では、事業の透明性を高めるため、過去の事業費や市の負担のない事業も含めた沼津駅周辺総合整備事業の全体事業費を毎年公表しています。

最新の事業費については、平成28年3月31日を基準として更新し、平成29年1月18日に公表しました（詳細は市ホームページをご覧ください）。

6つの事業で構成される**沼津駅周辺総合整備事業の総事業費は約1,996億円(市負担約733億円)**です。市だけでなく、国や県なども事業費を負担しています。

平成27年度までの事業費は約699億円(市負担約300億円)で、市街地再開発事業や駅北拠点開発事業はすでに完了しています。平成28年度以降の事業費は約1,296億円(市負担約433億円)です。



沼津駅周辺総合整備事業

<平成27年度末時点での事業進捗状況>

- ①**鉄道高架事業** 3.4%
⇒ JR東海道本線、御殿場線の高架化
- ②**鉄道高架関連事業** 31.9%
⇒ 鉄道高架化に伴う道路整備等
- ③**土地区画整理事業** 20.7%
⇒ 駅周辺の総合的な都市基盤整備
- ④**特定再開発事業** 99.4%
⇒ 沼津駅北地区の都市基盤整備
- ⑤**市街地再開発事業** 完了
⇒ 「イ〜ラde」の整備等
- ⑥**駅北拠点開発事業** 完了
⇒ 「ブラサヴェルデ」の建設

■ 埋蔵文化財調査の現地説明会を開催

県と沼津市は、原西部地区の新貨物ターミナル建設予定地において、「中原遺跡」の埋蔵文化財調査を行っています。

2月5日には、これまでの調査の成果を報告する現地説明会を開催しました。

立春を過ぎたとはいえ寒さ厳しい中での開催となりましたが、約180の方が参加され、今年度発見された竪穴式住居や掘立柱建物跡(古墳時代～奈良時代)のほか、これまでに出土した土器などをご覧いただきました。

来年度も調査を継続し、新貨物ターミナル建設予定地の用地取得完了後、速やかに工事に着手できるよう準備を進めていきます。



■ 「市民の会」が先進事例を視察

1月25日に、「沼津駅の高架化を実現する市民の会」のみなさんが、鉄道高架に関連した都内の先進事例を視察しました。

東急、東京メトロの中目黒駅周辺では昨年11月にオープンした「中目黒高架下」を、東急の二子玉川駅周辺では再開発事業により整備された複合施設「二子玉川ライズ」を熱心にご覧になり、沼津の新たなまちづくりに思いを馳せました。



静岡県沼津土木事務所 都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号

TEL: 055-920-2222・FAX: 055-926-5527

E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/>



沼津市沼津駅周辺整備部 推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL: 055-934-4768・FAX: 055-934-2310

E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp

URL: <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm>